

各業務：診療情報管理係

—概要—

平成24年度は、特に診療録の整理を行った。日常業務としては、診療録記載内容の確認・がん登録・診療情報の有効的な2次利用、カルテ開示とデータの精度管理に努めた。

大阪府がん診療拠点病院として院内がん登録と地域がん登録を行い「がん診療」に貢献した。

院外活動として、診療情報管理学会学術大会で2症例発表を行った。(13参照) また、病院職員5名(診療情報管理士4名・事務員1名)で診療情報管理をとりまく環境変化に対応しながら、日々の業務に取り組んだ。

今後は、病院内外より必要とされる診療情報、患者の役に立つ情報、経営に資する情報の発信及びカルテ開示対応、精度の向上を目指す。

—主な業務及び実績—

1. 入院診療録の量的・質的点検
2. 診療録及びX線フィルムのアライバイ管理
3. 各種統計表作成と疾病分類(ICD-10 コーディング)
 - 1) DPC様式1におけるICD-10 コード最終確認により「.9コード」が9.3%から6.5%へ付与率が2.8%減少した。
 - 2) 他部署からのデータ照会、資料及び統計作成:106件
4. 「退院時要約(電子サマリー)」の診療データ管理
5. 傷病名マスター管理(893件 更新)
6. がん登録(全疾患・入・外該当患者)
 - 1) がん登録平成23年度登録症例数:802件
(府内770件・府外32件)
7. 診療録開示対応(内容点検)42件
8. 新任医師及び看護師、医師事務作業補助者への診療録等に関するオリエンテーション
9. 教育講演会・研修会、院内研修会の開催
10. 医師事務作業補助者への業務サポート
11. 診療情報管理委員会の運営事務局担当
診療情報管理委員会の開催(毎月第3水曜日)
以下決定事項
 - 1) 救命救急センターへの診療録搬送について
 - 2) 電子媒体に保管されている旧病院のフィルムと問診票の整理
 - 3) 心疾患患者における心電図の運用構築
 - 4) 電子カルテ内の指示終了作業について運用整理
 - 5) 小児科における外来診療録の運用続行
 - 6) 治験における服薬記録について
 - 7) 予約診療における外来診療録の出庫の整備
 - 8) 死亡診断書と死体検案書について運用整備
12. クリニカルパス委員会の事務局担当
13. 放射線部運営委員会の委員に任命
14. 大阪DMAT隊員に任命
15. 学会発表